

# さわやかさん

盛岡医療生活協同組合

〒020-0835 盛岡市津志田26-30-1  
発行責任者 佐藤正勝  
TEL 019-635-6253  
FAX 019-635-1736  
http://www.morioka-medi-coop.or.jp/

2022年  
7月特別号

## 盛岡医療生活協同組合 第58回通常総代会開催



盛岡医療生活協同組合第58回通常総代会が、6月18日、ホテルメトロポリタン盛岡本館にて、総代定数 150 名中本人出席 56 名、書面出席 89 名、委任出席 2 名、合計 147 名の出席のもとで開催されました。



開会を宣言する千葉副理事長

### 開会のあいさつ



理事長 尾形 文智

この2年を超えるコロナ禍で私達の生活は一変しました。そして、私達のまちづくり活動にも大きな制限をもたらしました。これまでと同じ健康増進活動はできなくなり、少ない住民が地域の中で孤立し、フレイルの進行と深刻な問題をもたらす状況が進んでいます。

私達は、「楽しく・つながり・フレイル予防、いわゆるT・T・F」を言葉に活動を促して来ましたが、「ブレーキを踏み続けながら、恐る恐るアクセルを踏み込む状態」であったことは事実です。

知恵を寄せ合い、感染対策に留意しつつも、今できる「人と人とのつながり方」を探っていきましょう。今この時をやり過ごす我慢ではなく、新しい医療生協活動・あかるいまちづくりをともに考えて行きましょう。

総代会では、理事会から提案した6議案を討議し、すべての議案を採択しました。



専務理事 佐藤 正勝

#### 第1号議案

2021年度のまとめと事業報告・決算報告・剰余金処分承認の件

#### 第2号議案

第7次3か年計画決定の件

#### 第3号議案

2022年度事業と運動の方針及び予算決定の件

#### 第4号議案

理事報酬・監事報酬決定の件

#### 第5号議案

役員選挙管理委員選任の件

#### 第6号議案

役員選挙委員選出の件

5名の総代と1名の職員から総代会議案を補強する発言がありました。

#### コロナ禍でも工夫して班活動を継続

森 貴美子 (滝沢南支部)



一昨年、カラオケ同好会「ひばりの会」という班を立ち上げました。ところがコロナが蔓延してしまい、カラオケができなくなっていました。それでも月に1回くらいは集まりたいという話になり、折り紙を折って楽しむことにしました。たまには体を動かそうとストレッチをしたり、みなさんが集めた情報を出し合いおしゃべりして過ごしました。

今年の4月には雫石にお花見に行ってきた。桜が綺麗でみんな乙女に戻りました。今年に入って初めて本来のカラオケに行つて楽しみました。これからも声を出すことで健康を維持する班を継続したいと思います。

#### 今年度の活動と院内クラスター発生への意見

坂本 安法 (紫波支部)



紫波町は当初感染者数が少なかったのですが、一気に増え紫波町全体の活動が止まってしまふほど、何もできない状況がしばらく続きました。4課題への取り組みが不十分となりました。

2022年度は、紫波支部全体で集って健康体操、ウォーキングを行うことを決めました。班を中心にした健康チャレンジや健康チェックの実施など班活動の継続化の中で4課題につなげていくようにしたいと思います。川久保病院に院内クラスターが発生し、対策に苦慮したことを医療機関として、しっかりと検証して今後の対策に生かすべきだと思います。

#### 班活動を楽しみ仲間も増やして

副島 悦子 (厨川・みたけ支部)



4つの班の様子を紹介します。グラウンドゴルフ班はアピオの広い草原を走り回っています。さくらんぼ班はニュースポーツのシャッフルボードを楽しむ班です。まんぷく班はいろんな場所にランチを食べに行く班です。よつば班は映画を観る班です。さくらんぼ班で組合員になった70代

の女性は、近所の人達との交流があまりなかったのですが、グラウンドゴルフ班やまんぷく班にも参加して、生き生きと楽しそうにおしゃべりしています。医療生協に入って良かったと言える仲間を増やして行きたいです。

#### たまり場規定の要件を利用しやすいように改善を

藤島 みつ (湯沢支部)



たまり場「みんなの家」を開設して13年になります。この間、いろいろな形でたまり場を支えてくれたのは、地域の組合員のみなさんです。たまり場は地域の活動の拠点となり、支部活動やつながりが更に広がりました。4年後の2014年に「たまり場規定」ができました。規定は生易しい内容では有りません。

コロナの影響で活動が半減しました。しかし、身近にいる地域のみなさんとなることができ、新たなメンバーで新たな形で復活の兆しが見えはじめました。コロナ禍で地域のみなさんにお弁当を届ける活動ができたのも、たまり場があったからです。たまり場は地域で安心して暮らせる、そして人がやさしいまちづくりにつながります。もっと利用しやすい「たまり場規定」に見直ししてほしいです。

#### 班の存在意義を再確認、班活動が四課題達成の力

牛間木 栄子 (山岸支部)



コロナ禍で活動自粛もやむを得ない日々が続きましたが、7つの班が感染



状況を見ながら活動を継続して来ました。10月に開催された「レッツさわやかウォーキング」は3つの班の合同開催で29名の参加でした。健康チャレンジの取り組みでは、つながり122名のチャレンジ報告があり、健康推進委員の頑張りや各班での頑張りのおかげです。山班とウォーキング班は「お元気ですか訪問」をし、4名の仲間増やしをして目標達成しました。つながり、仲間増やしや班活動として根付いて来ています。班の存在意義が大きいことを再認識した3年間でした。

院内クラスターを経験して

小松 紅実 (川久保病院看護部長)



2022年2月末から患者と職員42名の感染が確認されました。クラスターとなった病棟は、高齢で介助を要する方が多く、食事や入浴介助などのケアの際は患者はマスクをしていますが、またオミクロン株の特徴である潜伏期が短く感染力が強いことも感染拡大につながりました。病棟看護師の約半数が感染し自宅待機となったので、外来診療を縮小し病棟へ看護師を集め体制を確保しました。リハビリスタッフも応援に加わり、入院患者のケアや家族へ様子を伝えました。肉体的にも精神的にも辛い一か月でした。外来休診や入院退院できないことでコロナで通常の医療提供が成り立たなくなることを実感しました。現在対策の一つとして、入院時のPCR検査を必須としています。目に見えないウイルスはどこから入り込むかわかりません。今後感染対策をより一層強化し地域住民のみなさんが安心して利用できる病院づくりを目指していきます。

文書発言

滝口 妙子 (山岸支部)

支部活動援助金の増額と、川久保病院へマンモグラフィを導入することを要望します。

総会決議及びアピールを拍手で確認しました。



吉田 明美 常務理事



採択の様子



千葉功一総代

議長団

高橋貴志子総代

アピール

今こそ、つながりづくり、健康づくりを 創意工夫して前進させましょう！

私達は、新型コロナウイルス感染症により、2年半もの間、班や支部活動などの組合員活動が思うようにはできませんでした。健康チェックや健康講話、新春のつどいなど、健康づくりとつながりづくりのための活動が、感染拡大により、急遽中止することも度々ありました。こうした中でも、支部単位で分散して行った「レッツさわやかウォーキング」は、大変好評でした。また、オンラインの医療講話、小さな単位の班活動、SNSを使用した情報共有などにも取り組みました。

生協強化月間中に取り組んだ地域訪問は、地域の課題を実感する取り組みとなりました。コロナ禍で引きこもりがちになった生活になっている方、一人暮らしで交流を求めている方が多く、医療生協の活動が地域から強く求められていることがわかりました。

院所・事業所では、新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、発熱外来やPCR検査、ワクチン接種にとりくみ、感染対策を徹底しながら、医療・介護活動の維持に全力を注ぎました。事業所でクラスターが発生しましたが、一致団結して感染の封じ込めに全力を注ぎ、収束させました。

コロナ禍の今こそ、医療生協の役割を發揮し、地域のつながりを強め協同の力で、いのち輝く社会、安心して住み続けられるまちづくりを前進させましょう。

- 感染予防対策を徹底し、つながりづくり、仲間増やしに工夫を凝らしてとりくみましょう。
- 「T・T・F」(楽しく・つながり・フレイル予防)を合言葉に健康チェック、健康チャレンジを大きく広げましょう。
- 医療・介護活動を継続させるために、増資を促進し、経営基盤を強化しましょう。

2022年6月18日  
盛岡医療生活協同組合  
第58回通常総代会

決議

内閣総理大臣 岸田 文雄 殿

憲法を遵守し、平和といのち、くらしを 最優先することを強く求めます

今、誰しもが、ロシアによるウクライナ侵略の早期終結を願っています。軍事侵略は生存する権利を脅かす最大の人権侵害であり、また環境破壊でもあります。

日本は75年前に制定された日本国憲法で、過去の侵略戦争の反省に立ち、前文と9条において、再び戦争の惨禍を起ささないこと、国際平和を誠実に希求すること、武力を放棄することを誓いました。この平和憲法を持つ日本が果たすべき役割は、憲法9条を生かした平和外交を貫くことです。

岸田政権は、憲法9条への自衛隊明記、緊急事態条項の創設を推し進めようとしています。9条を変え自衛隊を「戦争する軍隊」に変えることは、他国に軍備増強に口実を与え、東アジアの緊張をさらに高め、軍事対軍事の危険な戦争への道となります。緊急事態条項は、国会の権能を奪い、国民の基本的な人権を制限し、独裁への道を開くものです。

コロナ禍やロシアによるウクライナ侵略、また、アベノミクスの失敗による円安が物価を高騰させ、くらしと生業が大変になっています。そうした中、政府は社会保障を抑制し、後期高齢者医療費窓口負担2割化や地域医療構想による急性期病床削減を行おうとしています。

最近の世論調査では、優先すべき政治課題は、「憲法改正」は僅か2%、「年金・医療・介護」は32%、「景気・雇用」は26%です。国民は、憲法を変えることよりも、くらしといのちが最優先される政治を望んでいます。

私達は、次のことを求めます。

1. 改憲の動きをやめ、憲法を遵守すること。
2. 医療や福祉などの社会保障、教育、暮らしの保障に全力をあげること。

2022年6月18日  
盛岡医療生活協同組合  
第58回通常総代会

2021年度の支部・班表彰のご紹介

1. 支部表彰

【四課題目標達成】 該当支部なし

【特別表彰】

北岩手支部 (四課題中三課題達成し、仲間増やしが多かったため理事会より推薦)

松園支部 (四課題中三課題達成し、多彩な班活動が行われたため理事会より推薦)

見前西支部 (地域訪問の取り組みが秀でていたため、理事会より推薦)

2. 班表彰

【優秀班】

1. ウォーキング班 (山岸支部)

2. 山班 (山岸支部)
3. ララ班 (山岸支部)
4. こごみ班 (松園支部)
5. 秋桜班 (青山支部)
6. 脳いきいきハッピー班 (河東支部)
7. 紅い薔薇班 (滝沢北支部)
8. 菓子班 (滝沢北支部)
9. 葉の木沢班 (滝沢北支部)
10. かつこう班 (滝沢南班)
11. ひばり班 (滝沢南支部)
12. 産直班 (北岩手支部)
13. おとめの会 (北岩手支部)
14. 里山を歩こう会 (北岩手支部)
15. ピンクレディー・ピロピロ班 (玉山支部)

【優良班】

1. 紫陽花班 (本町・上田支部)
2. 折り紙班 (夕顔瀬支部)
3. さくら班 (夕顔瀬支部)
4. やよい班 (山岸支部)
5. あすなろ班 (天神支部)
6. 河南グラウンドゴルフ班 (河南支部)
7. セラバンド班 (緑が丘支部)
8. リフレッシュ班 (緑が丘支部)
9. おりがみの会 (緑が丘支部)
10. 鉢ノ皮班 (緑が丘支部)
11. すずらん班 (緑が丘支部)
12. お茶のみ班 (高松支部)
13. 西松園健康を考える会 (松園支部)
14. 1・2・3 (ひふみ) 班 (松園支部)

15. ゆびあす班 (松園支部)
16. ぶら散歩班 (松園支部)
17. ひまわり班 (上米内支部)
18. さくらんぼ班 (厨川・みたけ支部)
19. 脳いきいきクラブ (大宮支部)
20. ウォーキング班 (大宮支部)
21. ラジオ体操班 (大宮支部)
22. ひなざくら班 (見前西支部)
23. 男組 (河東支部)
24. 湯沢1班 (湯沢支部)
25. 悠友班 (湯沢支部)
26. 美文字班 (湯沢支部)
27. 藤の会 (矢中東支部)
28. 陽光台班 (滝沢北支部)
29. ありあり班 (滝沢南支部)